【千葉県】グループホームなごみの家

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年2月27日

【評価実施概要】

事業所番号	1272201490
法人名	特定非営利活動法人 なごみの家
事業所名	グループホームなごみの里
所在地	千葉県柏市正連寺380 (電話) 04-7132-1448
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2008/2/19

【情報提供票より】(平成20年1月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	26 人	常勤	10人, 非常勤 16人, 常勤換算 18.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建て	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	80,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷金	有() 円) ○無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(240,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		2,000円	

(4) 利用者の概要(1月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	5 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.3 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	花野井クリニック・松丸歯科医院・東歯科クリニック・北柏アットハートクリニック
---------	--

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれて見晴らしも良く、開放的な中庭があるのが印象的な施設である。開設者が地元の住民だったこともあり、地域に根ざした施設運営がなされている。定期的に施設の広報誌である「なごみ通信」を家族や地域の方々に多数発行しており、施設の地域理解にも努めている。約100名で組織されている「なごみの家・なごみの里を支える会」があり、行事や農園管理等の協力を得ている。地域の方々の相談対応や学生等の職場体験・障害者等の受け入れを通じた地域貢献も行っている。理事長が柏市認知症高齢者グループホーム連絡会の会長及び柏市介護サービス事業者協議会の理事を務めており事業者や市との連携に力を入れている。施設入居については必ず体験入居を経てからおこなっており、安心かつ確実な受け入れ体制を取っている。在宅感覚を重視し、自宅で生活しているように支援している。また、家族の来訪が多く、入居者の安心した生活にも繋がっている。行事や外出会等も多数企画されており、楽しく充実した生活支援が提供されている。また、職員配置が厚く入居者一人ひとりのニーズに応じた柔軟な対応がなされている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価においての改善課題は特に無かったが、職員の研修を強化し、質の向上に努めている。また、終末期の対応にも力を入れている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価票については理事長が作成しており、他の職員への周知はなされていない。しかし、前回までの評価結果については周知されており、評価の意義を理解していると共に、業務に対する気付きを大切にしている。今後の評価結果を活かして更なるサービスの質の向上につなげたいと考えている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>地域の関係者を構成員として定期的に運営推進会議を行っている。会議では施設の活動報告や状況報告等を行い、地域理解の促進を図っている。また、積極的に意見交換を行い、行事計画の立案や施設の運営向上に向けた取り組みを行っている。その他、理事長が柏市グループホーム連絡会の会長及び柏市介護サービス事業者協議会の理事を勤めており、市の担当者との積極的な連携を図っている。事業運営に関する相談や研修会の実施を通して、相互の信頼関係を構築している。また、市と協同でサービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>面会時に直接要望等を確認しており、挙げた要望については迅速かつ柔軟に対応している。苦情はほとんどないが、なるべく家族や本人の気持ちを汲み取り、要望に沿った支援が出来るように心がけている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>理事長及び施設長が地元の出身であり、地域に根ざした交流と施設運営がなされている。地域の住民の方々が「なごみの家・なごみの里を支える会」を組織しており、各行事や農園活動等で大きな支援を得ている。地域の自治会にも加入しており、地域行事の参加も積極的に行っている。また、学生等の職場体験の受け入れや地域の相談支援等の地域貢献も積極的に行っている。定期的に「なごみ通信」を地域に多数発行しており、地域の施設理解に努めている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の自由と尊厳を主眼とした独自の理念をつくりあげている。地域のとの交流職を大切に、職員の質の向上を図り、安心した生活が出来るように支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念が掲示されていると共に、内部研修等で随時理念の確認及び共有化を図っている。職員も理念を意識した支援に努めており、適切なサービス提供がなされている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	理事長及び施設長が地元の出身であり、地域に根ざした交流と施設運営がなされている。地域の住民の方々が「なごみの家・なごみの里を支える会」を組織しており、各行事や農園の管理等で大きな支援を得ている。施設の近隣の方々とはお花見や山菜取り等を通しての交流があり、日頃から協力を得ている。地域の自治会にも加入しており、地域行事の参加も積極的に行っている。また、学生等の職場体験の受け入れや地域の相談支援等の地域貢献も積極的に行っている。定期的に「なごみ通信」を地域に多数発行しており、地域の施設理解に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価票については理事長が作成しており、他の職員への周知はなされていない。しかし、前回までの評価結果については周知されており、評価の意義を理解していると共に、業務に対する気付きを大切にしている。今後の評価結果を活かして更なるサービスの質の向上につなげたいと考えている。		各職員の気付きを大切にしながら職員全員で自己評価票の作成を行い、更なる運営及びサービスの向上に努めていただくことを期待します。

【千葉県】グループホームなごみの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス向 上に活かしている	民生委員・地域住民・市の地域包括支援センター職 員・家族・職員等を構成員として定期的に運営推進会 議を行っている。会議では施設の活動報告や状況報告 等を行い、地域理解の促進を図っている。また、積極的 に意見交換を行い、行事計画の立案や施設の運営向 上に向けた取り組みを行っている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外 にも行き来する機会をつくり、市町村ととも にサービスの質の向上に取り組んでいる	理事長が柏市グループホーム連絡会の会長及び柏市 介護サービス事業者協議会の理事を勤めており、市の 担当者との積極的な連携を図っている。事業運営に関 する相談や研修会の実施を通して、相互の信頼関係を 構築している。また、市と協同でサービスの質の向上に 努めている。		
4.理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、 金銭管理、職員の異動等について、家族等に 定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「なごみ通信」を発行し、施設での活動の様子 を写真入で伝えている。個人の生活の様子については 毎月手紙と写真で報告されている。また、面会時や電 話連絡等で、随時報告がなされている。利用料の請求 時に診療内容を詳しく記入した診療明細書を同封して いる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員な らびに外部者へ表せる機会を設け、それらを 運営に反映させている	面会時に直接要望等を確認しており、挙げた要望に ついては迅速かつ柔軟に対応している。苦情はほと んどないが、なるべく家族や本人の気持ちを汲み取り、 要望に沿った支援が出来るように心がけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員に よる支援を受けられるように、異動や離職を 必要最小限に抑える努力をし、代わる場合 は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしてい る	異動は無く人材が安定しており、入居者に対する影響 は生じていない。人材配置も厚く、安心したサービス提 供がなされている。新人職員については、慣れた職員 と一緒に業務を行い入居者との馴染みの関係を築いて いる。		

【千葉県】グループホームなごみの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングをしていくことを進めている	積極的に外部研修に参加しており、職員の質の向上に努めている。また、ミーティング等において外部研修の内容を職員全員に周知し、情報の共有化を図っている。在職期間に応じたステップアップ方式の内部研修を実施しており、職員の育成に力を入れている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会を通じて、定期的に交流活動が行われている。各事業所が協同で研修会の立案や実施をしており、相互の質の向上に努めている。また、協同でコンサート等を実施し、入居者・家族・職員間の交流を促進している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の面接や施設見学を通して、本人及び家族の希望や思いを受け止めている。また、必ず1週間から2週間の体験入居を経て、お互いが納得した上で正式に入居してもらっている。入居後は生活に慣れるまで本人のペースを主体とした支援を行っており、個々の希望にも応じながら安心した生活を過ごしてもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の意向をしっかり受けとめながら生活活動に参加していただき、いきいきとした生活がおくれるように支援している。また、サービス業としての心得を自覚しながら、適切な支援を心がけている。共同生活において入居者から教えられることも多く、生活習慣や人間性を見習い、相互に支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の生活曆書を家族に作成してもらい、本人及び家族の意向把握に努めている。また、センター方式のアセスメントを活用して職員全員で入居者一人ひとりの意向を把握し、適切な支援計画に繋げている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>各職員が計画書の原案を作成した上で職員全員でカンファレンスを行い、本人本位の介護計画を作成している。計画内容については家族の了承を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に評価を行い、計画の見直しを行っている。入居者の状況が変化した場合は家族と相談しながらその都度見直しを行い、適切な支援ができるようにしている。</p>		

【千葉県】グループホームなごみの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じた、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人及び家族が希望する美容院の付き添いやお店での買物の支援を行っている。協力病院との連携が密になされており、往診対応が柔軟になされている。また、受診支援については主に職員が対応しており、家族の負担軽減を図っている。学童等の子供との交流も多く、入居者の生活の活性化を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院を中心として受診支援を行っている。また、協力病院の往診や看護体制により24時間体制の医療支援がなされており、入院率の低下を図っている。診療内容については文書で家族に報告していると共に、家族の要望を汲み取り医療関係者に伝えている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び終末期に向けた方針を、医師や家族と話し合った上で、施設としてできる最大限の対応を行っている。医師との連携も確実に行われており、往診や連絡体制を密にして適切な支援がなされている。また、家族も職員と協力しながら直接支援を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については鍵付の書庫で保管し個人情報の保護を図っている。日常的にも入居者のプライバシー及びプライドに配慮した言葉かけに注意して相互の信頼関係を大切にしている。職員間の申し送りについては、入居者に聞こえないように注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間以外は日課に取り決めが無く、本人のペースで自由に過ごしてもらっている。本人の希望に応じて調理や掃除等の生活活動に参加してもらったり、散歩・買物・ドライブなどの外出支援を行っている。また、特技を活かしたプランターづくりも行われており、施設の雰囲気明るくしている。		

【千葉県】グループホームなごみの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・盛り付け・後片付けを職員と共同で行っていると共に、同じテーブルで食事を囲み、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを大切にしている。また、外食会もたくさん企画しており、食に対する楽しみを広げている。買物や農園からの野菜収穫等を通して、食材調達の楽しみも共有している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望や状況に応じて適切な入浴支援を行っている。入浴は毎日実施できる体制になっており、入浴時間も自由である。浴室のスペースも広くゆったり入浴できる雰囲気がある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の生活歴や特技を活かして家事や作品作り等を共同で行っている。個々の希望に応じたレクリエーションを、専門家の協力を得ながら実施しており、趣味の継続や生活の活性化に繋げている。地域の方々の協力も得ながら定期的に行事や作品作りも実施している。施設内の広い庭を活用したさまざまな取り組みも、入居者の		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調に応じて、毎日散歩や外気浴を行っている。定期的に外出会や外食会を実施しており入居者と職員で楽しみを共有している。外出会及び外食会は多数実施されており、多いときで1か月に15回程度企画されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。玄関には鈴が設置されており、職員の見守りの強化を図っている。外に出た場合でも無理に引き止めず、見守りや言葉かけにより柔軟に支援している。また、地域の方々の協力もあり、安全な対応がなされている。居室に鍵が設置されており、本人の意思により開閉自由となっている		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと非難訓練及び消防設備点検を定期的実施している。災害時の対応については周知徹底が図られており、職員の対応意識も高い。災害時における地域の方々との協力体制はしっかり構築されている。		

【千葉県】グループホームなごみの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや能力に合わせて適切な食事提供を行っている。また、食事や水分摂取の記録もしっかり行っており、入居者の栄養確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	敷地内に広い中庭があり、外気浴やくつろぎの場所となっている。また、バーベキューや夏祭り等を行う楽しみ場所にもなっている。施設内は高窓の設置もあり採光が良く、周囲の見晴らしも良い。また、前面バリアフリーで共用空間も広く開放的である。季節花や装飾物があり、明るい雰囲気がある。廊下にはソファや書棚が配置されており、一人になれる空間にも配慮している。2つのユニットが併設されていて、お互いの行き来が自由となっており、職員や入居者の交流が日頃から行われている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により自由に馴染みのものを持ち込むことが可能であり、居心地よく生活が出来るように配慮されている。全室畳敷きとなっており、温かい感じがする居室である。全居室にエアコンと空気清浄機が設置しており空調も適切に行われている。		